


産業遺産の保存と活用に関する調査

整理番号	②		名称	北炭鹿の谷倶楽部（夕張鹿鳴館）		分類	炭鉱関連施設		
写 真			所在地	夕張市鹿の谷2丁目		建築年等	1913(大正2)年		
			構造	木造		設計者	北海道炭鉱汽船		
			見学可否	一般公開		施工者	篠原要次郎		
			文化財等の登録・指定内容	2007(平成19)年近代化産業遺産群 2011(平成23)年登録有形文化財					
			アクセス方法	JR 鹿の谷駅から徒歩10分					
解 説	<p>・1913(大正2)年、北海道炭礦汽船株式会社(北炭)北海道支店が岩見沢から夕張に移転した際に、役員之交歓や来賓の接待等目的に北炭鹿の谷倶楽部として建築された施設です(設計者:篠原要次郎)。</p> <p>・もともと岩見沢にあった重役宅を移築して、増築の上、倶楽部として使用しました。部屋数は本館と2つの別館(東側第一別館(1916(大正5)年竣工)、西側第二別館(1913年(大正2)年竣工))を併せて、30余室もありました。</p> <p>・当時の建築技術の粋を集め、贅を尽くした本格的和風建築物です。1954(昭和29)年には昭和天皇が宿泊されました(この時に、寝室、炊事場を大改造しています)。</p> <p>・本館のほか、第1,第2号社宅(現存は第1号のみ)もあり、北炭の幹部職員が居住した鹿の谷地区は一般市民が入り難い雰囲気があったと言われます。</p> <p>・1999(平成11)年には、NHK連続テレビ小説「すずらん」のロケにも使用されました。</p>								
施設の現存状況	有 ( ) 無 (解体年 )								
所 有 者	株式会社テクノ			管 理 者	株式会社テクノ				
施設の管理方法 (いずれかに○)	1 市町村自ら管理 2 市町村から民間会社に指定管理・委託により管理 3 所有者が管理 4 その他 ( )			施設の管理状況 (複数回答可)	1 市町村職員が行う草刈り・除雪等 2 屋根の防水工事など、必要に応じて修繕 3 特に何もしていない 4 その他 ( )				
施設の活用方法 (複数回答可)	1 教育施設として活用 2 観光施設として活用 3 一般開放していない 4 その他 (所有者である民間企業がレストラン及び宿泊施設として活用)			自由記載:					
施設の今後の活用方法について (複数回答可)	1 文化財等へ登録・指定(国・市) ※注1 2 施設のリニューアル 3 現状維持(維持補修を含む) 4 日本遺産の認定 5 世界遺産登録 6 解体撤去 7 未定 8 その他( )			自由記載:					
他地域との連携した取組について 「炭・鉄・港」など (いずれかに○)	1 すでに他地域と連携している(具体的な内容: ) 2 検討中 3 現時点では連携実施していない 4 その他(具体的な内容: )								
施設を活用する上での課題 (複数回答可)	1 知名度が不足している 2 魅力的な展示方法がわからない 3 施設を解説できる人材が高齢化し、不足している 4 施設を補足説明する写真や資料等がない 5 施設が老朽化しており、修繕に多額の費用がかかる 6 その他(具体的な内容: )								
施設の画像の有無 (該当するものに○)	静止画	有: 写 真 ネガフィルム デジタル写真 デジタルデータ その他( ) 無							
	動 画	有: 8ミリフィルム ビデオ DVD その他( ) 無							
産業遺産の保全と活用について	*産業遺産の保全と活用についての質問や意見等があれば、記載してください。								


注1 「文化財等の登録・指定等」には景観法に基づく景観重要建造物の指定や、各市独自の保存制度も含む。

産業遺産の保存と活用に関する調査

整理番号	③		名称	北炭楓鋳発電所	分類	炭鋳関連施設	
写 真		所在地	夕張市楓 33	建築年等	1913（大正2）年		
		構造	レンガ造	設計者	北海道炭鋳汽船		
		見学可否	外観のみ（敷地内は要許可）	施工者			
		文化財等の登録・指定内容	2007（平成19）年近代化産業遺産群				
		アクセス方法	夕鉄バス・登川停留所から徒歩10分				
解 説	<p>・北海道炭鋳汽船（株）の採炭事業電化の一環として、建設された発電所です。1909（明治42）年に着工されましたが、日露戦争後の不景気で一時建設を中止した後、1912（大正元）年に工事再開。1913（大正2）年に竣工しました。</p> <p>・2棟並んだレンガ造りの切妻屋根が特長です。発電施設の集約化による発電所の廃止後も、楓坑事務所として使用され、1987（昭和62）年の真谷地炭鋳閉山まで使用されました。</p> <p>・閉山後は、ガラス工芸館として再利用されましたが、1994（平成6）年10月に閉鎖されました。</p> <p>・北炭楓鋳で唯一残る施設で、数少ない大正初期の炭鋳レンガ建築です。</p>						
施設の現存状況	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> （解体年）						
所 有 者	民間企業		管 理 者	所有者である民間企業			
施設の管理方法 （いずれかに○）	1 市町村自ら管理 2 市町村から民間会社に指定管理・委託により管理 <input checked="" type="radio"/> 3 所有者が管理 4 その他 （ ）		施設の管理状況 （複数回答可）	1 市町村職員が行う草刈り・除雪等 2 屋根の防水工事など、必要に応じて修繕 3 特に何もしていない 4 その他 （ ）			
施設の活用方法 （複数回答可）	1 教育施設として活用 2 観光施設として活用 <input checked="" type="radio"/> 3 一般開放していない 4 その他 （ ）		自由記載：施設が老朽化しているため、見学するのは危険。				
施設の今後の活用方法について （複数回答可）	1 文化財等へ登録・指定（国・市）※注1 2 施設のリニューアル 3 現状維持（維持補修を含む） 4 日本遺産の認定 5 世界遺産登録 <input checked="" type="radio"/> 6 解体撤去 <input checked="" type="radio"/> 7 未定 8 その他（ ）		自由記載：施設の老朽化のため、今後の維持が難しい状況にある。				
他地域との連携した取組について 「炭・鉄・港」など （いずれかに○）	1 すでに他地域と連携している（具体的な内容： ） 2 検討中 <input checked="" type="radio"/> 3 現時点では連携実施していない 4 その他（具体的な内容： ）						
施設を活用する上での課題 （複数回答可）	1 知名度が不足している 2 魅力的な展示方法がわからない 3 施設を解説できる人材が高齢化し、不足している 4 施設を補足説明する写真や資料等がない <input checked="" type="radio"/> 5 施設が老朽化しており、修繕に多額の費用がかかる 6 その他（具体的な内容： ）						
施設の画像の有無 （該当するものに○）	静止画	有： <input checked="" type="radio"/> 写 真 <input checked="" type="radio"/> ネガフィルム <input checked="" type="radio"/> デジタル写真 <input type="radio"/> デジタルデータ その他（ ）				無	
	動 画	有： <input type="radio"/> 8ミリフィルム <input type="radio"/> ビデオ <input type="radio"/> DVD その他（ ）				無	
産業遺産の保全と活用について	＊産業遺産の保全と活用についての質問や意見等があれば、記載してください。 将来的には解体もやむを得ないと考えます。						

注1 「文化財等の登録・指定等」には景観法に基づく景観重要建造物の指定や、各市独自の保存制度も含む。

産業遺産の保存と活用に関する調査

整理番号	④		名称	旧北炭夕張炭鉱模擬坑道（史蹟 夕張鉱）		分類	炭鉱関連施設		
写 真			所在地	夕張市高松 7 番地 1		建築年等	1939（昭和 14）年		
			構造	地下坑道		設計者			
			見学可否	一般公開		施工者			
			文化財等の登録・指定内容	2006（平成 18）年登録有形文化財					
			アクセス方法	夕鉄バス・社光停留所から徒歩 10 分					
解 説	<p>・公開されている国内唯一の炭鉱坑道。1939(昭和 14)年に皇族が夕張を訪れた際に見学用坑道として整備されました。</p> <p>・1954（昭和 29）年に、昭和天皇・皇后両陛下が訪問された際に、ダブルジグコール・カッターが設置され、模擬坑道としての形が整えられました。その後、映画撮影、救護隊の訓練、一般見学などにも利用されました。</p> <p>・1980(昭和 55)年の石炭博物館の開館の際に、見学コースの一部として、自走枠、ドラムカッターなど大型採炭機械が加えられ、展示用模擬坑道として完成しました。坑内では実物の炭層も見学できるほか、上添坑道、下添坑道、採炭切羽、斜坑等炭鉱の坑道骨格を見ることが出来ます。</p>								
施設の現存状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無（解体年 _____）								
所 有 者	夕張市			管 理 者	夕張リゾート（株）				
施設の管理方法 （いずれかに○）	<input type="radio"/> 1 市町村自ら管理 <input checked="" type="radio"/> 2 市町村から民間会社に指定管理・委託により管理 <input type="radio"/> 3 所有者が管理 <input type="radio"/> 4 その他 （ _____ ）			施設の管理状況 （複数回答可）	<input type="radio"/> 1 市町村職員が行う草刈り・除雪等 <input checked="" type="radio"/> 2 屋根の防水工事など、必要に応じて修繕 <input type="radio"/> 3 特に何もしていない <input type="radio"/> 4 その他 （ _____ ）				
施設の活用方法 （複数回答可）	<input checked="" type="radio"/> 1 教育施設として活用 <input type="radio"/> 2 観光施設として活用 <input type="radio"/> 3 一般開放していない <input type="radio"/> 4 その他 （ _____ ）			自由記載：					
施設の今後の活用方法について （複数回答可）	<input type="radio"/> 1 文化財等へ登録・指定（国・市）※注 1 <input checked="" type="radio"/> 2 施設のリニューアル <input type="radio"/> 3 現状維持（維持補修を含む） <input type="radio"/> 4 日本遺産の認定 <input type="radio"/> 5 世界遺産登録 <input type="radio"/> 6 解体撤去 <input type="radio"/> 7 未定 <input type="radio"/> 8 その他（ _____ ）			自由記載：					
他地域との連携した取組について 「炭・鉄・港」など （いずれかに○）	<input type="radio"/> 1 すでに他地域と連携している（具体的な内容： _____） <input checked="" type="radio"/> 2 検討中 <input type="radio"/> 3 現時点では連携実施していない <input type="radio"/> 4 その他（具体的な内容： _____）								
施設を活用する上での課題 （複数回答可）	<input type="radio"/> 1 知名度が不足している <input type="radio"/> 2 魅力的な展示方法がわからない <input type="radio"/> 3 施設を解説できる人材が高齢化し、不足している <input type="radio"/> 4 施設を補足説明する写真や資料等がない <input checked="" type="radio"/> 5 施設が老朽化しており、修繕に多額の費用がかかる <input type="radio"/> 6 その他（具体的な内容： _____）								
施設の画像の有無 （該当するものに○）	静止画	有： <input checked="" type="radio"/> 写真 <input type="radio"/> ネガフィルム <input type="radio"/> デジタル写真 <input type="radio"/> デジタルデータ その他（ _____ ）					無		
	動画	有： <input type="radio"/> 8ミリフィルム <input type="radio"/> ビデオ <input type="radio"/> DVD その他（ _____ ）					無		
産業遺産の保全と活用について	*産業遺産の保全と活用についての質問や意見等があれば、記載してください。								

注 1 「文化財等の登録・指定等」には景観法に基づく景観重要建造物の指定や、各市独自の保存制度も含む。

産業遺産の保存と活用に関する調査

整理番号	⑤		名称	北炭夕張炭鉱天龍坑坑口(資材斜坑坑口、人車斜坑坑口)	分類	炭鉱関連施設	
写真		所在地	夕張市高松7番地	建築年等	1900(明治33)年		
		構造	レンガ造	設計者			
		見学可否	一般公開	施工者			
		文化財等の登録・指定内容	2006(平成18)年登録有形文化財				
		アクセス方法	夕鉄バス・社光停留所から徒歩10分				
解説	<p>・1890(明治23)年に開鉱した北炭夕張炭鉱は、1892(明治25)年に夕張線も開通し、本格的な採炭が進みました。この坑口は1900(明治33)年に「第3斜坑」として開鉱した後、1918(大正7)年「天龍坑」と改称されました。</p> <p>北炭夕張炭鉱の坑口名は川名を使用しており、この坑名も天龍川に由来しています。・北炭夕張炭鉱初期の主要坑道であった「天龍坑」は、1938(昭和13)年にはガス爆発災害で160余名が犠牲になり、その後、採掘が中止されました。石炭露頭に開削された坑口として、初期の面影を残しています。</p> <p>・現在では、赤レンガの化粧坑口が美しい入気坑と排気坑が対になって見ることが出来ます。戦前の災害資料などのほか、映像資料などに比較的記録の多く残る坑口です。</p> <p>■資材斜坑坑口(構造及び形式等：煉瓦造、幅7.2m：1900(明治33)年)          解説文：人車斜坑坑口の東方に位置する。煉瓦5枚厚、スパン4mの半円アーチを築き、壁面にはピラスター、コーニス等や、「天龍坑」と陰刻された扁額を付ける。人車斜坑坑口と共に、北炭夕張炭業所管内で最大級の採炭量を誇った第二鉱区における代表的遺構のひとつ。</p> <p>■人車斜坑坑口(構造及び形式等：煉瓦造、幅11m：1900(明治33)年)          解説文：高松跨線橋の約65m北方に位置する。当初、第三斜坑と呼ばれた煉瓦造斜坑の坑口の一つ。錐形に盛り上げた石材を要石に用いた煉瓦4枚厚、スパン2.5mの半円アーチを築き、ピラスター、コーニス等を付けた壁面の左右に翼部を張り出す堂々とした構え。</p>						
施設の現存状況	有 (解体年 )						
所有者	夕張市		管理者	夕張市			
施設の管理方法 (いずれかに○)	<input checked="" type="radio"/> 1 市町村自ら管理 <input type="radio"/> 2 市町村から民間会社に指定管理・委託により管理 <input type="radio"/> 3 所有者が管理 <input type="radio"/> 4 その他 ( )		施設の管理状況 (複数回答可)	<input type="radio"/> 1 市町村職員が行う草刈り・除雪等 <input type="radio"/> 2 屋根の防水工事など、必要に応じて修繕 <input checked="" type="radio"/> 3 特に何もしていない <input type="radio"/> 4 その他 ( )			
施設の活用方法 (複数回答可)	<input type="radio"/> 1 教育施設として活用 <input checked="" type="radio"/> 2 観光施設として活用 <input type="radio"/> 3 一般開放していない <input type="radio"/> 4 その他 ( )		自由記載：				
施設の今後の活用方法について (複数回答可)	<input type="radio"/> 1 文化財等へ登録・指定(国・市) ※注1 <input type="radio"/> 2 施設のリニューアル <input checked="" type="radio"/> 3 現状維持(維持補修を含む) <input type="radio"/> 4 日本遺産の認定 <input type="radio"/> 5 世界遺産登録 <input type="radio"/> 6 解体撤去 <input type="radio"/> 7 未定 <input type="radio"/> 8 その他 ( )		自由記載：				
他地域との連携した取組について 「炭・鉄・港」など (いずれかに○)	<input type="radio"/> 1 すでに他地域と連携している(具体的な内容： ) <input checked="" type="radio"/> 2 検討中 <input type="radio"/> 3 現時点では連携実施していない <input type="radio"/> 4 その他(具体的な内容： )						
施設を活用する上での課題 (複数回答可)	<input type="radio"/> 1 知名度が不足している <input type="radio"/> 2 魅力的な展示方法がわからない <input type="radio"/> 3 施設を解説できる人材が高齢化し、不足している <input type="radio"/> 4 施設を補足説明する写真や資料等がない <input type="radio"/> 5 施設が老朽化しており、修繕に多額の費用がかかる <input checked="" type="radio"/> 6 その他(具体的な内容：改修が可能かどうか不明)						
施設の画像の有無 (該当するものに○)	静止画	有：写 真 ネガフィルム デジタル写真 デジタルデータ その他 ( )				無	
	動画	有：8ミリフィルム ビデオ DVD その他 ( )				無	
産業遺産の保全と活用について	*産業遺産の保全と活用についての質問や意見等があれば、記載してください。						

注1 「文化財等の登録・指定等」には景観法に基づく景観重要建造物の指定や、各市独自の保存制度も含む。

産業遺産の保存と活用に関する調査

整理番号	⑥				名称	旧北炭夕張炭高松跨線橋		分類	炭鉱関連施設	
写 真		所在地	夕張市社光		建築年等	1936（昭和11）年		設計者		
		構造	RC造		設計者			施工者		
		見学可否	自由に見学可能		設計者			施工者		
		文化財等の登録・指定内容	2006（平成18）年登録有形文化財							
		アクセス方法	夕鉄バス・社光停留所から徒歩10分							
解 説	<ul style="list-style-type: none"> <li>この橋は、夕張鉄道に接続していた北炭夕張炭鉱専用鉄道（1927（昭和2）年開通）に架かる跨線橋で、1936（昭和11）年に高松地区の住宅地と高松の炭鉱浴場を結ぶ橋として建設されました。</li> <li>橋の両端が傾斜構造となっていますが、これは北炭夕張炭鉱専用鉄道を通る車輛が大型化したため、改修されたと伝えられています。</li> <li>当時は、高松地区に乗降場が設けられ、通勤列車が運行されていた時期もありました。地域の大勢の人々の往来を見つめてきた橋です。現在はサイクリングロードとなっており、北炭夕張炭鉱専用鉄道が接続していた夕張鉄道（1926（大正15）年開通・1975（昭和50）年廃止）の廃線跡には、当時使用されたトンネルや、橋梁、スイッチバック跡が残されています。</li> </ul>									
施設の現存状況	<input checked="" type="radio"/> 有		<input type="radio"/> 無（解体年）							
所 有 者	夕張市				管 理 者	夕張市				
施設の管理方法 （いずれかに○）	<input checked="" type="radio"/> 1 市町村自ら管理 <input type="radio"/> 2 市町村から民間会社に指定管理・委託により管理 <input type="radio"/> 3 所有者が管理 <input type="radio"/> 4 その他 （ ）				施設の管理状況 （複数回答可）	<input checked="" type="radio"/> 1 市町村職員が行う草刈り・除雪等 <input checked="" type="radio"/> 2 屋根の防水工事など、必要に応じて修繕 <input type="radio"/> 3 特に何もしていない <input type="radio"/> 4 その他 （ ）				
施設の活用方法 （複数回答可）	<input checked="" type="radio"/> 1 教育施設として活用 <input type="radio"/> 2 観光施設として活用 <input type="radio"/> 3 一般開放していない <input type="radio"/> 4 その他 （ ）				自由記載：					
施設の今後の活用方法について （複数回答可）	<input type="radio"/> 1 文化財等へ登録・指定（国・市）※注1 <input type="radio"/> 2 施設のリニューアル <input checked="" type="radio"/> 3 現状維持（維持補修を含む） <input type="radio"/> 4 日本遺産の認定 <input type="radio"/> 5 世界遺産登録 <input type="radio"/> 6 解体撤去 <input type="radio"/> 7 未定 <input type="radio"/> 8 その他（ ）				自由記載：					
他地域との連携した取組について「炭・鉄・港」など （いずれかに○）	<input type="radio"/> 1 すでに他地域と連携している（具体的な内容： ） <input checked="" type="radio"/> 2 検討中 <input type="radio"/> 3 現時点では連携実施していない <input type="radio"/> 4 その他（具体的な内容： ）									
施設を活用する上での課題 （複数回答可）	<input type="radio"/> 1 知名度が不足している <input type="radio"/> 2 魅力的な展示方法がわからない <input type="radio"/> 3 施設を解説できる人材が高齢化し、不足している <input type="radio"/> 4 施設を補足説明する写真や資料等がない <input checked="" type="radio"/> 5 施設が老朽化しており、修繕に多額の費用がかかる <input type="radio"/> 6 その他（具体的な内容： ）									
施設の画像の有無 （該当するものに○）	静止画	<input checked="" type="radio"/> 有：写 真 ネガフィルム デジタル写真 デジタルデータ その他（ ）								無
	動 画	<input checked="" type="radio"/> 有：8ミリフィルム ビデオ DVD その他（ ）								無
産業遺産の保全と活用について	*産業遺産の保全と活用についての質問や意見等があれば、記載してください。									

注1 「文化財等の登録・指定等」には景観法に基づく景観重要建造物の指定や、各市独自の保存制度も含む。